

4 交通事業

(1) 事業概要

ア バス事業の概要

職員数は1,829人で、前年度(1,949人)に比べ▲120人、▲6.2%減少している。在籍車両数は1,125両で、前年度(1,127両)に比べ▲2両、▲0.2%減少している。

営業路線は696.1kmで、前年度(693.2km)に比べ2.9km、0.4%増加し、年間輸送人員は170,454千人で、前年度(176,642千人)に比べ▲6,188千人、▲3.5%減少した。また、年間走行距離は39,343千kmで、前年度(40,546千km)に比べ▲1,203千km、▲3.0%減少している。

イ 地下鉄事業の概要

職員数は915人で、前年度(999人)に比べ▲84人、▲8.4%減少している。

在籍車両数は282両で、前年度と同数になっている。

横浜市の地下鉄は、昭和47年12月に上大岡～伊勢佐木長者町間で開業して以来路線を拡大してきており、現在ではブルーラインとして、あざみ野～湘南台間(40.4km)を運行している。

また、平成20年3月には中山～日吉間(13.0km)でグリーンラインが開業し、平成20年度末現在の営業路線キロ数は53.4kmで、前年度と同数になっている。

年間輸送人員は197,906千人で、前年度(179,340千人)に比べ18,566千人、10.4%と大幅に増加している。また、年間走行距離は33,059千kmで、前年度(27,173千km)に比べ5,886千km、21.7%と大幅に増加している。

川崎市の地下鉄事業は、新百合ヶ丘～武蔵小杉ルート of 計画で、事業許可を目指している。

交 通 事 業 の 概 要

項 目	バ ス 事 業									地 下 鉄 事 業								
	横 浜 市			川 崎 市			計			横 浜 市			川 崎 市			計		
	20	19	増 減	20	19	増 減	20	19	増 減	20	19	増 減	20	19	増 減	20	19	増 減
営業路線 (km)	497.1	494.2	2.9	199.0	199.0	0.0	696.1	693.2	2.9	53.4	53.4	0	0	0	0	53.4	53.4	0
年間輸送人員 (千人)	122,870	128,266	▲5,396	47,584	48,376	▲792	170,454	176,642	▲6,188	197,906	179,340	18,566	0	0	0	197,906	179,340	18,566
年間走行距離 (千km)	26,906	28,028	▲1,122	12,437	12,518	▲81	39,343	40,546	▲1,203	33,059	27,173	5,886	0	0	0	33,059	27,173	5,886
在籍車両数 (両)	801	803	▲2	324	324	0	1,125	1,127	▲2	282	282	0	0	0	0	282	282	0
職 員 数 (人)	1,248	1,276	▲28	581	673	▲92	1,829	1,949	▲120	902	983	▲81	13	16	▲3	915	999	▲84

(2) 経営状況

交通事業全体の経常損益は▲26億91百万円の赤字で、前年度（▲19億73百万円）に比べ赤字額が▲7億18百万円増加している。経常収支比率は96.5%で、前年度に比べ▲0.8ポイント下降している。また、累積欠損金は2,452億68百万円で、前年度（2,433億71百万円）に比べ18億97百万円、0.8%増加し、不良債務は43億39百万円で、前年度（68億49百万円）に比べ▲25億10百万円、▲36.6%と大幅に減少している。

ア バス事業の経営状況

バス事業の経常収益は304億79百万円で、前年度（315億73百万円）に比べ▲10億93百万円、▲3.5%減少し、経常費用は307億53百万円で、前年度（303億15百万円）に比べ4億38百万円、1.4%増加している。

この結果、経常損益は▲2億74百万円の赤字となっている。また、累積欠損金は5億68百万円で、前年度（7億91百万円）に比べ▲2億23百万円、▲28.2%の大幅な減少となっている。経常収支比率は99.1%で、前年度（104.1%）に比べ▲5.0ポイント下降している。

イ 地下鉄事業の経営状況

地下鉄事業の経常収益は438億31百万円で、前年度（395億73百万円）に比べ42億58百万円、10.8%と大幅に増加し、経常費用は462億48百万円で、前年度（428億4百万円）に比べ34億44百万円、8.0%増加している。この結果、経常損益は▲24億17百万円の赤字で、前年度（▲32億31百万円）に比べ赤字額が8億14百万円減少している。

また、累積欠損金は2,447億円で、前年度（2,425億80百万円）に比べ21億20百万円、0.9%増加している。経常収支比率は94.8%で、前年度（92.5%）に比べ2.3ポイント上昇している。

(3) 料金収入と職員給与費

交通事業全体の料金収入は632億61百万円で、前年度（603億71百万円）に比べ28億90百万円、4.8%増加している。また、料金収入に対する職員給与費の割合は44.6%で、前年度（50.5%）に比べ▲5.9ポイント下降している。

また、これを事業別にみると、バス事業は72.9%で、前年度（77.0%）に比べ▲4.1ポイント下降しており、地下鉄事業は22.9%で、前年度（27.1%）に比べ▲4.2ポイント下降している。

経常収支の状況

(単位:百万円,%)

項目	20		19		増減 (20-19)	増減率		増減率				
	うちバス	うち地下鉄	うちバス	うち地下鉄		うちバス	うち地下鉄	うちバス	うち地下鉄			
経常収益	74,310	30,479	43,831	71,146	31,573	39,573	3,164	▲1,093	4,258	4.4	▲3.5	10.8
営業収益	65,235	28,406	36,830	62,277	29,267	33,010	2,958	▲862	3,820	4.8	▲2.9	11.6
うち料金収入	63,261	27,507	35,754	60,371	28,389	31,982	2,890	▲882	3,771	4.8	▲3.1	11.8
経常費用	77,001	30,753	46,248	73,119	30,315	42,804	3,882	438	3,444	5.3	1.4	8.0
営業費用	62,486	30,502	31,984	58,933	30,125	28,808	3,553	377	3,176	6.0	1.3	11.0
うち職員給与費	28,228	20,055	8,173	30,501	21,846	8,655	▲2,273	▲1,791	▲482	▲7.5	▲8.2	▲5.6
減価償却費	20,463	2,408	18,055	15,974	2,389	13,585	4,489	19	4,470	28.1	0.8	32.9
支払利息	14,199	95	14,104	14,006	94	13,912	193	1	192	1.4	1.1	1.4
経常損益	▲2,691	▲274	▲2,417	▲1,973	1,258	▲3,231	▲718	▲1,532	814	-	-	-
経常利益	187	187	0	1,258	1,258	0	▲1,070	▲1,070	0	▲85.1	▲85.1	-
経常損失	2,878	461	2,417	3,231	0	3,231	▲353	461	▲814	▲10.9	皆増	▲25.2
累積欠損金	245,268	568	244,700	243,371	791	242,580	1,897	▲223	2,120	0.8	▲28.2	0.9
不良債務	4,339	0	4,339	6,849	0	6,849	▲2,510	0	▲2,510	▲36.6	-	▲36.6
経常収支比率	96.5	99.1	94.8	97.3	104.1	92.5	▲0.8	▲5.0	2.3	-	-	-
職員給与費/料金収入	44.6	72.9	22.9	50.5	77.0	27.1	▲5.9	▲4.1	▲4.2	-	-	-